夕刊 磐城新聞
十月十九日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

聞いた話、讀んだ話

黒頭巾生

二

次は平電力の社長栗原氏の御話「近頃神前結婚を行ふ人が、だん／＼多くなつて來たが、之は誠に結構な傾向であると思ふ。選擧でさへ神前で誓を立て、投票の際には投票場に神様を御うつしして、所謂神前投票を行ふ世の中であるから人生に取つて最大の意義を有し、嚴粛に行ふ可きこの結婚式を神前にて新郎新婦が千代かけて、偕老同穴の契りを確く誓ひ合ふと云ふ事は、結婚の第一歩に頗るよき印象を與ふるものであると思ふ

然るに人に依つては、十月は神なし月であるから神様の留守の處で式を行つても何等意義をなさないから何處でも同じだなどと言ふ人もあるが、之は大きな考へ違ひではあるまいか、一等神は全智全能であるから神官の御迎ひによつて直ちに歸るものであると思ふ。強ひて云ふならば、神の居る居らないと云ふ事は問題でないと思ふ

何事のおはしますかは
知らねども、かたじけ
なさに涙こぼるゝ

伊勢の大廟に、お詣りをして知らず知らずの內に頭の下るその感じこそ貴いのである。之は神無し月に參拜しても、やはり同じ感に打たるゝものであると思ふ

或る大きな力を有せらるゝ、神様のましますその御前にて何等のけがれもなく純眞そのものの如き！ 自然に有難き感に打たるゝ場所に於て、神様の御使であらす神官によりて、新郎新婦が繼き誓の式を嚴粛に然も莊嚴に、行はるゝ事は誠に貴いものであると思ふ」と

之からぼつ／＼結婚のシーズンに入るので大變面白い話であると思ふ。出來得るならば、披露など云ふ形式的の事は出來得る限り質素に簡略しても、三三九度の式だけはこの意義ある神前結婚を御勧め致し度いと思ふ

次は生命の實相第十卷にのつて居る一節である

『或日自分は古本屋で、高野太吉氏の抵抗養生論と云ふ本を、見付けたので買つて來て、讀んで見た。それによると「一切の肉類はそれは分析上如何に榮養價値が富んで居ようとも、著しく胃腸の中で腐敗しやすきものである

謁明治神宮（其一）

珠害　小野務平

聖帝威靈不可浸
齋蒼嘉木曉光深
清沙一路如舖玉
小立居愁物外心

常陸華川村 (2)

島田忠夫

○峽ぞこに岩こす水はあぢさゐの群るかげに或は激つ

○住みつきて人貧しき家や道より低き背戸の庭見ゆ鍋に植うる草も

○谷あひに飽くまで茂る犬蓼が洗炭の水くろぐろと越ゆ

○山はざまにトロ動くなる分離しておのおの營む小炭礦が見ゆ

○洗炭に勵むをみならの小規模なる作業は近々と道の上なり見ゆ

○乾きたる山なか道に降り出でし雨はたちまち滲みゆきにけり

議會主議の斷想 (3)

小野英哲

我國の憲法政治の根幹は五個條の御誓文に基礎を置し盛んに經綸を行ふ公論公議の政治であつて、極端なる右傾派の考へる程民主々義的なものでも無く、政黨人の考へる程進歩的自由主義的なもので無く、又全く類別のない純日本的なものでもあり得ないのである

先進國であつた西洋諸國の立憲的行政の長を採り我國古來の民族習慣に當てはめて、國粹的長所と合體して生れたのが立憲的本旨なのである。西洋のイズム的な臭みの寸毛も挿入されてない御誓旨に基いた立憲政治に外ならないものである故に我國の立憲的議會政治は民主々義的でも自由主義的でも極端なる右傾派流でのイズム的な性質であつても意義を成さない、議會に於いて輿論を審議し公論政治を行ふことを本旨としてる、よつて輿論かならずしも公論と成り得ない場合が成立して來るのである

現在の如く民意の代辯機關たる政黨を外にした半官僚政治は立憲思想の現れとは云ひ難く、又永續すべからざる性質なるものなのである。選擧と謂ふ下からの組織体を持つた政黨によつて行ふ所謂政黨政治其のものが正しい議會政治の本道なのである。一部官僚や○○によつて議會政治が行なはるゝことは立憲的本質に反し、併してかゝる現象を觀たる政黨人は自己反省の急務なものが發見出來るのである

現在の二大政黨の對立が政策による角逐といふ根本趣旨を喪失するに至つたことは、政黨內閣で無いといふ理由だけのものではなく政黨自体の組織体の弛緩と政治的良心と能率の著しい低下が根本原因なのである

潮聲硯靜抄帳

例會席上再選

芒

夕小雨穗芒たれし門を閉つ　水明
芒影ゆれゐて白し夕の湖
山裾の芒にせまる暮色かな
山路來てなびく尾花を分けてゆく　晩霞
ところ／＼ほわけ芒の暖かな
はら／＼とつゝく芒や古戰場
かち堀の景色を芒二三株　素秋
有り過ぎて撰穗に迯ふ芒哉

聯盟

秋野夕雀

伊エのたゝかひに
經濟封鎖
金融斷交の藥餌をもつて
きくかきかないか
その反應を研究する各國の委員會
死ならうが死ぬまいが
尊い犧牲の患者となる
エ國に聯盟といふ
人造人間の試運轉だつた

10月20日 △富士川に對陣の平軍水鳥の羽音に敗走（治承四）△元の大軍筑前に襲來、夜大暴風雨起り敗亡（文永一一）△小泉六一中將軍人後援思想普及講演（昭和八）

10月21日 △源義光歿す（大治二）△竹田出雲逝去（寶曆六）△英汽船ノルマントン號紀州沖に沈沒（明治一九）△仙遞庭球に平局優勝△入山對日立競技（昭和九）

その日〳〵

○空澄みて脚かろく、いよいよもみぢ狩りのシーズン、川前あたりこれより賑ふ

小說 誰が殺したか (151)

水谷準作　龍造寺謄畫

第三の殺人（二十四）

『あゝ！』

父子もろともよろめき立つた

顏を見合せた龍太郎の眼光の中に異樣な熱情の炎が燃え立つてゐた

さて、これまで記された四つの殺人事件のうち、第三の殺人は淳一の再生によつて消え去つたが、こゝに加へて第五の殺人が起らうとする

併しそれは血笑鬼ならぬ淳一の手によるものだ

第一、第四の殺人を彼の犯行とするも、杉野前支那公使を殺したのは誰か？

敢て問ふ、淳一その人が浴室で剃刀を弄んだかの血笑鬼なりや否や？

東京郊外大森の山手夜十時は、深夜を思はせる靜けさの中に眠つてゐる

樹木鬱蒼として、まばらな街燈の光りも暗い、だら〳〵坂を登りつめると、そこに、さながら廢墟のやうに草茫々ひゞ割れ壁には蔓草がはびこり、家守がごそ〳〵這ひ廻る洋館がぽつんと立つてゐる

こゝ數年來住む人とてない空家である

遠くで省線電車の眠たげな警笛が鳴つた

と、闇の中に突如ひそやかな物の動く氣勢

草を分、立木を搖すぶつて、そろりそろり洋館の方に進んで行く二つの影

『彼奴、ゐるでせうか！』

『居る筈だ、誰知るものもないと思つて油斷してゐるのが此方の附目だ、だが安心はできないよ』

そつと囁き合つて誰も見てゐるものはない筈なのに前後左右に氣を配り一歩一歩建物の裏手に忍び寄る

先に立つ影は、その聲でも知られる通り鬼刑事赤城探偵、從ふ影は赤城腹心の部下の三田村である

獲物はまさしくこの化物屋敷然たる空家の中らしい

猛虎か狼か、何れにしても赤城のきつと結んだ唇や穩かならぬ心臟の鼓動から察しても、並々の捕物でないことが窺はれる

だが、見渡したところ窓家の中からは燈火の影一筋も洩れず、ことりとの音もせぬのだ

苔蒸た石段のところへやつて來て、赤城は先づはッと一息ついた

『いゝかね。奴は二階だよ兩方から一緒に飛びかゝるやうにしなければ、恐ろしい力のある男だつて一振りで投飛ばされてしまふよ』

『もつと加勢のものを連て來るんでしたな』

『いや、船頭が多すぎては何にもならぬ。こゝを取卷く間に、奴は風を喰つて逃げだらう。さ、行かう』

赤城は朽かけた扉に鍵をさし込んで廻した

ガチャリ、と微な音ではあるが、靜けさの中ではそれが途方もなく大きく響いた

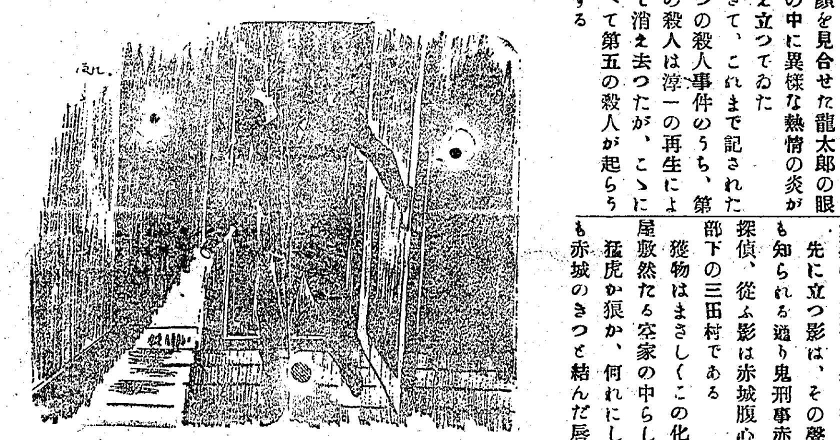
二人はびつくりとして、ぢーッと耳を澄ました

『大丈夫だよ。立つてはいけない。中腰で歩くんだ。向うは必ずピストルを持てゐる』

『我々もピストルを持つてゐます』

『絶對に撃つちやいけない生捕るんだ』

扉を開けると、ぷーんと黴臭い匂いが鼻を衝いた。懷中電燈の光が、脚元三尺ばかり、丸い圓をゑがいてゆれた

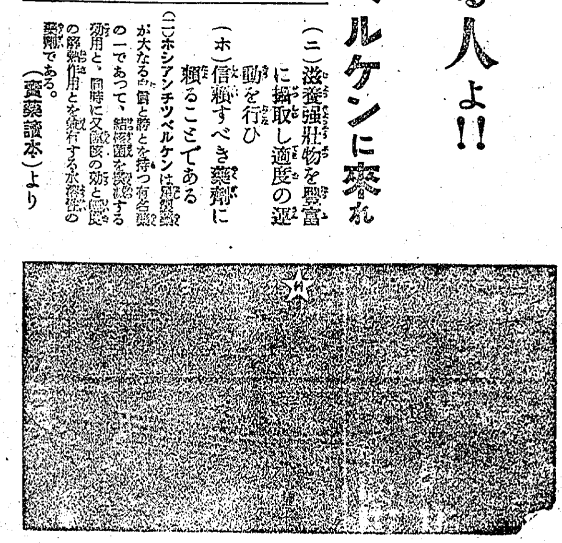


結核恐るゝに足らず!!

ホシはリスク

肺結核の疑ある人よ!!
迷ふことなく
ホシアンチツベルケンに來れ

（一）結核恐るべし、又敢て恐るゝに足らず、不治の病とは一應の過去に過ぎぬこと明瞭となつた。結核撲滅の根本法則は
（イ）精神を朗かに持つことであり
（ロ）新鮮なる空氣を吸ひ、日光に浴し
（ハ）熱のない時は温浴して清潔を保ち
（ニ）滋養強壯物を豐富に攝取し適度の運動を行ひ
（ホ）信頼すべき藥劑に頼ることである
（二）ホシアンチツベルケンは[illegible]が大なる[illegible]と特とを持つ有名藥の一であつて、結核菌を撲滅する効用と、同時に又[illegible]の効と[illegible]作用とを兼有する水溶性の藥劑である。
（賣藥讀本）より



ホシアンチツベルケン

主治　肺結核、肺尖カタル、肋膜炎、氣管枝カタル、腐敗性氣管枝炎、
効能　喘息・咳痰・盜汗・に卓効あり
用法　大人一日三回六瓦宛水ニ溶解シ食後十五分服用ス　十五歳以下七歳迄ハ半量、七歳以下四歳迄ハ三分ノ一、四歳以下二歳迄ハ六分ノ一、二歳以下十分ノ一ヲ用ユ

結核豫防に　[illegible]　¥0.37
盜汗と營養に　[illegible]　¥0.78
結核性解熱劑　[illegible]　¥0.43

——東京・大崎・五反田　星製藥株式會社——

ホシチエンストアー平支部
ホシ藥舖
平町三丁目　電話四二九

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

廣告
株式現物賣買
三共商事合資會社
平町大町通り
電話三六〇番

耳鼻咽喉科專門
病室完備 自炊ノ便アリ
平町田町（電六九一）
山內醫院
醫學士 山內亨吉

耳鼻咽喉科專門
（入院隨意 病室完備）
平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番

健康にハチ切れる 兒童千五百名の跳躍
明二十日、秋酣の高月台上
展開さるる郡下小學兒童競技大會

郡下小學兒童体育競技大會は愈々明二十日午前九時より秋酣なる磐中校庭に於て開催される、午前八時半左記順序により入場式を行ひ了つて一同國民保健体操（ラヂオ体操）第二を合同体操して健康を謳歌、同九時より出場左記四十五校約千五百名の代表兒童によつて各種競技が順次展開される筈で拗ね氣味の天候もどうやら今日からは本格的秋晴れを見られるらしく盛會を期待されてゐる

植田 山田 錦 勿來尋高 同尋常 川部 上遠野 入遠野 田人 湯本 湯本入山 磐崎尋高 同第一 同第三 渡邊 泉 小名濱 玉川 江名 飯野 好間尋高 平第一 同第二 同第三 內郷第二 同高坂 平窪 豊間 神谷 草野 大野 四倉 大浦 高久 夏井 澤渡 磐崎第二 鹿島 好間尋常 內郷第一 同第三 小川 赤井第一 同第二 岡田彥次郎

△音樂部演奏曲目 1滿洲國の歌 2蘭の花 3瀨戸の風景 4山は夕燒 5國境の町

蜂屋柿共同出荷
中央市場を目掛け 郡農會で斡旋に大童

梨子の出廻最盛季に次いで愈々今月下旬頃から弗々出廻り出す石城名產蜂屋柿の共同出荷に際し郡農會では二十二日午後一時から郡內村農會係員を招き協議する今年の作柄は過般の天候不順に祟られて平年作の四十萬貫に比し約半額の二十萬貫足らず、出荷車數も昨年の二十車も出れば精々であらうと悲觀されてゐる、尚荷先は何れも東京市場であると

平商生徒の雄叫び
音樂部と聯合して 來廿一日雄辯大會

平商辯論部では音樂部聯合の下に明後二十一日同校講堂に秋季雄辯大會を催すが番組左の如く盛會を豫想されてゐる

1『失敗の教訓』二年菅本肇 2『國旗と平和』一年中野一 3『未定』一年隈川仁治 4『未定』一年島本啓二 5『油斷大敵』二年渡邊五郎 6『理想か大道に生きよ』二年下河邊弘 7『仰げ日章旗』二年菊池保善 8『隨心萬境轉』三年吉田治三郎 9『理想と實現』二年袖山勝伯 10『未定』二年草野光三 11『生存の要求』三年皆川正巳 12『未定』三年小澤幸三 13『未定』四年鹽澤友吉 14『戰をつゞけよ』五年根本健兒 15『前に進むに在り』五年

將來の良妻賢母に 女給さん講習會
カフエー組合が指導

平町カフエー業者間では過般來同業者間の向上、親睦融和を圖つて組合發會を計劃中であつたが此程愈々機熟して昨十八日午後二時より四丁目マルトモホールに柴田署長、神官、僧侶、敎育者、醫師等の指導者列席發會式を擧行、協議の結果從業員（女給）の精神修養、衛生常識、その他品位向上を圖つて毎週金曜日前記各氏を講師として講習會を開く事になつたが、作法、茶湯、生花等は町議高橋龜松氏令閨が當る筈であると

磐女バザー

磐城高女では既報の如く來る二十七、八の兩日第三回バザーを開き、二十七日には近在小學兒童並に同校生徒による音樂會を催すが、圖書部では之がポスターを同校生徒間から募集中左記諸嬢の優秀作品を得たので之を郡內各所に揭示宣傳することになつた

二年－今田操 下山田アイ 岡田幸子 松崎悅子 管野文子 加美山ミヤ子 大和田千恵子 柳生榮子 加澤トク 草野貞子 三年－小野不二子 大平カツヨ 大塚ツネ 馬目富代 熊トリ子 中柴マスヨ 野々尻貞枝 古市カヲル 永井睦子 鳥居靜枝 庄曄子 柏原久子 阿部トシ子 氏田ハツ 小松シゲ

仕事に飽き易い 「渡り鳥」勞働者の群
紹介所で對策に腐心

郡內に炭鑛等の職場のある關係から出稼人は少い地方であるが今後寒さに向ふにつれ北海道樺太方面から漁業を奪はれて追はれ出る所謂『渡り鳥勞働者』の群が入り込むので職業紹介所では早くもこれが消化對策に乗り出した

從來の成績に徴すると此種勞働者の殆どは折角同所で適當な就職口を見付けてやつても少し過激な仕事に出合ふと直に逃げ出すので使ふ方でも又紹介所側でも世話甲斐がないので今後は此の點に充分留意し意思の堅固なもののみ紹介する事になり目下青森地方局と連絡をとり準備中であると

出廻は減つたが 價額は却て增額
四倉繭市閉場近し

中央景氣に煽られて今春來好調を續け、晩秋繭の取引にも待望の七十圓台を確立して凶作騷ぎに憂鬱になつてゐた地方養蠶家を狂喜せしめた四倉市場は愈々明二十日の取引を最後にして閉場する

開場以來の出廻り高は最初の豫想二萬貫も過般の天候不順による違蠶續出で一萬五千貫に減じたが昨十八日迄の取引量はそれにすら達せぬ一萬一千八百九十貫三百匁の少量然し昨年同期の二、三十圓程度から今年は一躍六十圓台を續けて來たので取引額は昨年度を突破するものと云はれてゐる

再び昂騰 昨十八日の四倉市場取引左の如く再び七十圓臺近くに昂騰

高六九、四〇錢 安六一、九〇錢 蒯六六、一〇錢 出廻七六貫

勿來の人口 一萬二百餘

勿來町の人口は過般の調査により一萬二百餘名と判明したが、五年十月一日の八千餘に對し一千五百名、即ち一年三百名宛の增加率を示して居る、尚一萬突破により町議の定員十八名を次回選擧期から二十四名となし得る譯であるが增員するか十八名に止め置くかは目下の處相當議論が多い模樣である

町營運動場と 第四小學校
明年十一月着工か

懸案の第四小學校並に町營グラウンドは既報の如く愈々具体化し明十一年度にこれが敷地買收費を計上して土盛り其他の準備を進める事になつたが大体の着工は明年秋の稻刈り直後になるらしく、敷地買收の豫約交渉は目下委員が分擔着手されてゐる

平署管內 組頭協議

平署管內消防組頭會は二十六日午後一時から同署會議室に開き秋季檢閱日割、來月五日の防火宣傳に關し協議

三曲舞踊會
廿四日のプロ決る

既報－帝國在郷軍人會平町分會の資金造成三曲舞踊大會は來る二十日午後一時から聚樂館で開く、曲目左の如し

一、六段 二、吼歲 三、千鳥の曲、四、童謠舞踊 (イ)ヨイ〱－橫丁－金子ミサオ、久田トミ子（ロ）ユーベ見夕夢－三井マサ子、藤田テル子、安齊テル子（ハ）黑イ影法師－久田トミ子、金子ミサオ三井マサ子（ニ）ニヤン〱－踊－藤田テル子、安齋テル子（ホ）ハイキング－全員 五、白の聲 六、秋の言葉 七、松上の鶴 八、萩の露 九、壽競

秋！家出人頻り

資產家の一人息 樂しい戀の逃避行
蒼くなつた親爺賞金百兩

金澤市鹽屋町川崎常三郎倅機業常雄(二五)君は八月十七日夜八時頃現金約七百圓を懷に戀仲の石川縣河北郡七塚村白尾油野長市妹女學校卒百合子(一九)と手に手をとつて家出、去る三日東京上野の旅館を出發した迄は判明したが、其後の所在判明せず兩人共厄年の事から自殺の虞れがあるからと謝金百圓をかけ十九日男の父常三郎から平署に搜索願

亭主と幼兒を置去りに

四倉町町田保雄妻木村ハル(三三)は十三日午前二時頃夫と三人の子供を置き去りに家出、十九日夫から

平町に潛伏
家を顧ぬ三十女

宮城縣本吉郡氣仙沼町卯三郎長女千葉まつゑ(三〇)は今から四年前無斷家出したが平町の料理店に働いてゐる形跡あり同人の母が最近勞働中負傷したので働き手がないから搜して、れと父卯三郎より

死刑判決から無罪へ 前後四年振りに出所
獵奇の殺人事件に上訴抛棄

死罪から無罪へ――去る十五日東京控訴院で一審の死刑判決から無罪を言渡された東京原宿のバス屋殺しの相被告內郷村生れ早川敏(三八)については檢擧側で上告するか否か注目され言渡後も出所を許さなかつたが、十八日に至り檢擧側で上訴權を抛棄する事になり同日夕刻四年二ヶ月の長い年月を犯さぬ罪に泣き暮らした市ケ谷刑務所を出て寒氣に衰へつゝ塚崎辯護士方に落付いた

更生の資金にと 刑事補償請求か
一日三圓と見て約五千圓

急轉直下地獄の一丁目から無罪になつた早川敏君については辯護士から當局へ刑事補償法の請求をする筈であるが、同君は警察當局に檢擧以來犯行を否認し通してゐるので當然補償法の適用を受くべく滿四年二ケ月刑務所にゐたことになるから一日三圓と見積つても五千圓近い補償金を得られることになり同人はこれを更生の資金にするといつてゐる

。。。。籾摺業者會 平穀檢では二十三日午前十時から平町團体事務所でモミスリ業者示談會を開く

。。。。產組職員會 石城郡產業組合職員會は二十日午前九時から平町團体事務所に開き午後は縣經濟更生課中西主事の講演がある

炭礦主の 橫領事件
原審通り一年

川部村大字小川炭礦業生方彌二郎(四六)に係る橫領事件の控訴公判は十八日福島地方廷で原審通り懲役一年の言渡しがあつた

甘柿の誘惑
少年轉落重傷

勿來小學校高等一年生國井信治(一四)は十六日午後三時頃學校からの歸途柿取り中高さ二間半の樹上より墜落した際枯竹で耳部、下顎を突きさし目下植田醫院に入院治療中だがなか〱の重態であると

藤田バザー

平町藤田女學校の生徒作品第十五回バザーは來る二十七、八の兩日（日曜、月曜）午前八時から午後四時迄開く

斷水

平町五丁目地內消火栓修繕工事の爲南町、五丁目、新川町、立町、禰宜町、鎌田町では十九日午後十時から明朝一時迄斷水

。。。。農業教育研究會。。。。

郡第三區第六回を來る二十三日好間尋高校に開き研究發表、講演並に同村內農業經營實際狀況の視察を行ふと

洋服は信用堂へ

合着及び冬服は當店獨得のスタイルにて各種取揃へました。是非御一覽下さい。

黑小倉小學服	¥0.90ヨリ	小學水兵服	¥1.60ヨリ
黑小倉中學用	¥2.90ヨリ	べどー服	¥2.20ヨリ
サージ立衿上下	¥7.00ヨリ	男兒幼年服	¥2.00ヨリ
背廣三ッ揃	¥13.00	文化コート	¥0.80ヨリ
レンコート	6.00	スカート チヤンバー	各種

外に各種作業服ズボン

平町三丁目 電話六一三

信用堂洋服店

二十日 （小名濱測候所調査）
日出 五、四七 月出 ――
日沒 四、五七 月沒後 一、〇九
滿潮 前一〇、〇五 後一一、〇〇 千潮 前三、五五 後四、〇五

二十一日
日出 五、四七 月出後 一一、五六
日沒 四、五六 月沒後 一、三九
滿潮 前一〇、五〇 後一一、二〇 千潮 前五、〇〇 後七、二〇

舊九月二十三日 日曜 己巳 先勝 危 房宿 新十月二十日

鑑判定總帥 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神鑑館

▲一白 頑固一點張にて他の反感を招き同情失はる▲二黑 妄りに大事を企てず小利とて忽にせぬが吉▲三碧 苦勞も無駄とはならず喜びにあふ幸運の日▲四綠 家業上は至極おだやかなれども病難失物等注意▲五黃 する運なれども深慮熟考せば過ちを免るゝ日▲六白 萬事圓滿して成果を收むべき優勢なる吉日▲七赤 努力次第にて勝りの榮冠を得る優良なる日▲八白 諸事煮えきらぬ運勢をたどる一家の和合專一▲九紫 內を顧み外を氣づかひ愼重なればとがめを免る

舊九月二十四日 月曜 庚午 友引 成 心宿 新十月二十一日

▲一白 はらんの中にしづみ心憶して成就容易ならぬ日▲二黑 萬事に付活氣加はり功多き大吉日▲三碧 大望を貫かんとせばざせつを來たすべき凶日▲四綠 ぎやく境を切り拔け次第に順調に向ふべき吉日▲五黃 一利一害を現出せんとする日且誘惑を防げ▲六白 勇氣くじけて再起に困難を加ふべき日病注意▲七赤 進路にしやうがいあり引返しの餘儀なきに至る日▲八白 船出しても途中にてさかなみに襲はれ難かうす▲九紫 屈しん宜しきを得て志望も順調に進み行く日

毛糸編物講習會
毎日 午前九時から 午後三時まで
手編、器械編何でも御教へ致します
會費 一日二十錢
平町田町 ハシモトヤ糸店 電十四番

急告 豆タク！ 豆タク！ 豆タク！ の出現
秋のドライヴに、商用に
迅速 市內三〇錢
低廉 市外地普通料金四割引
鈴木自動車豆タク部 四丁目 電話二一七

創業 十二週年紀念大賣出し
營業革新……大飛躍の大塚
店舖改築（鋪裝道路完成）
店內小デパート式
期間 十月二十六日マデ
素晴らしい……紀念品もれなく進呈
外に五圓以上……一割引
○大塚の靴 スマートな型 堅牢な品質 驚異的な其値段
△月星運動靴、月星ゴム長靴
○大塚の運動具 今や酣の秋のシーズン 野球競技用具各種 本年は特に力を入れて居る
各種服裝類……豊富陳列
靴と運動具の 大塚 平・田町（銀座通り） 電話七十七番

國はニツポン。魚は凍魚
卸小賣 日本水產特約 平製氷會社 電三二八・三二六番
ヒノマル凍魚
鯛 エビ 白魚 ワカサギ 銀鯛 甘鯛 芝エビ 貝燒 平目 目拔 鮭鱒 其他
平町四丁目 ト印魚問屋 電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ速迅ニ致マス。

流行ノ下駄ト草履ハ！ドコヨリ安イ
南町 三井ハキモノ店 電話一八一番
（小僧さん入用）